

整理番号 2017M-085
補助事業名 平成29年度 産学連携による課題解決型RTイノベーション支援補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本ロボット工業会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

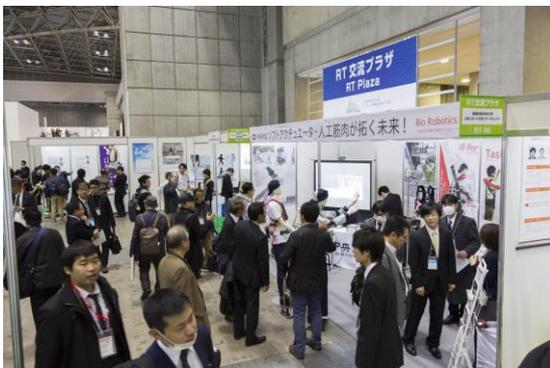
ロボット産業における技術課題解決やイノベーションの効率化・加速化を企図するにあたって、産業界の視点からのニーズや知見を基礎研究での取組にフィードバックするためのマッチングの場の提供とともに、大学及び公設研究機関でのロボット技術(RT)の公開(展示と実演)を行うことで当該分野における技術移転や共同開発、さらには新たな事業の創出を目的とすることで、機械工業の振興に寄与するものである。

(2) 実施内容

①委員会決定に基づき、産学連携による課題解決型 RT イノベーション支援補助事業 (RT 交流プラザ) のための出展案内を、大学及び公設研究機関に対して広く配布・募集を行い、審査委員による審査のうえ、出展機関を確定した。

②平成 29 年 11 月 29 日～12 月 2 日の 4 日間、東京ビッグサイト・東ホールで開催の「2017 国際ロボット展」の場において、特別企画として「産学連携による課題解決型 RT イノベーション支援補助事業」(RT 交流プラザ)を開催した。

展示ゾーン内での実演と説明



2 予想される事業実施効果

産学連携による課題解決型 RT イノベーション支援補助事業（RT 交流プラザ）において学界側からの技術シーズを公開、さらには学界側がこの場で産業界から得られたニーズおよび知見等を研究等にフィードバックすることで、今後、ロボットの社会実装に繋がる共同開発や技術移転などの効果とともに、次世代ロボットの市場創生を促すことが期待できる。

また、27 年度よりロボット関連分野の研究を行っている大学に対して、企業との産学連携を進める上での担当部門の調査を行い、今年度はそのフォローアップ調査を行い 7 つの大学から新たに回答（累計 64 大学）があり、当会の HP にも既にアップしたことで産学連携の足掛かりとなることが期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

ハンディガイド

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本ロボット工業会 （ニホンロボットコウギョウカイ）

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号

代表者： 会長 稲葉 善治 （イナバ ヨシハル）

担当部署： 総務部

担当者名： 部長 矢内 重章 （ヤナイ シゲアキ）

電話番号： 03-3434-2919

F A X： 03-3578-1404

E-mail： yanai@jara.jp

U R L： https://www.jara.jp/about/img/release/h29_rt_jka.pdf